

## 事業報告書

団 体 名	越河歴史探訪会
代表者役職・氏名	世話係1 八島 喜一
事 業 名	越河歴史探訪会；ことしも“越河”をたずねてみませんか！
実施した事業の内容 a 活動内容 b 実施日時 c 場所 d 参加人数 等	<p>今年度も年三回の頻度で実施した。</p> <p>一回目 a 白石市内の寺院巡り(その2) b 5月11日9:00~12:05 c 旧越河郵便局→清林寺→常林寺→傑山寺→旧越河郵便局にて解散 d 参加人数:23人(予定人数30人)</p> <p>二回目 a 越河御前を再び温める旅 ただし、これは越河地域振興会との共催事業 b 6月22日8:50~12:30 c 越河部落会館で座学→東地区の亀ヶ森観音堂→定光寺(千手観音像を拝謁)→解散 d 参加人数:35人(予定人数30人)</p> <p>三回目 a 伊達氏ゆかりの地巡りの旅(その6回目) b 9月28日9:45~14:05 c 旧越河郵便局→国見町貝田地区旧国道→奥州街道(貝田宿)が散見出来る箇所→最禅寺→越河部落会館で座学→(昼食)→再度越河部落会館で座学→検断屋敷屋敷跡と口留番所跡推定地散策後解散 d 参加人数:30人(予定人数30人)</p> <p>本事業に参加した総人数は88人(予定総人数90人)</p>
事業の成果や効果	<p>&lt;成果&gt; 郷土の歴史を、座学を介して実際に現地を探訪したことで、知的理解のもと体験的に知見を得たとの感想を得た。</p> <p>&lt;効果&gt; この事業により、越河地区民が互いに文化的側面でのつながりをより強く抱くことができるとともに、越河という地元に着目している歴史的遺構等をさらに詳しく理解したいとの希望を持ちつつあると大いに期待できる。</p>
今後における事業展開	<p>平成28年度から本年度まで28回にわたる歴史探訪の機会を続けてきたことにより、これまで参加されてきた方及び今年度新たに参加された方は、今後とも地元に着目している歴史的遺構等をさらに詳しく体得したいとの望みをより強く抱いているようである。</p> <p>従前の実際に加えて、参加者の希望や意見を取り込んで歴史探訪の内容をいっそう濃いものにしようとして検討している。</p> <p>今後、微力ではあるが、越河の歴史探訪の企画持続運営に取り組んでいきつつ、地域の地域づくりに一層貢献したい。</p>

【地域づくり団体等→まちづくり協議会等】

様式第V号④

## 収支決算書

団体名 越河歴史探訪会

### 1 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
白石市人と地域が輝く未来共創交付金	87,959	87,959	白石市からの交付金
自 己 資 金	63,000	61,600	参加者総数@¥700.
計	150,959	149,559	23+35+30=88人

### 2 支出の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	うち交付金充当額
講師への謝金	19,000	19,000	19,000
燃 料 費	35,084	34,484	8,084
消 耗 品 費	87,175	86,555	59,275
借 上 料	1,600	1,600	1,600
傷 害 保 険 代	8,100	7,920	0
計	150,959	149,559	87,959

※ 支出を証する書類（領収書等）の写しを添付すること。